

平成青木時報

2013年（平成25年）11月1日 第5号

発行：平成青木時報編集部

題字：三四六

灌仙寺 上棟式盛大に

10月19日に青木村奈良本にある灌仙寺の本堂・管理棟の上棟式が行われた。灌仙寺の歴史は450年以上と古く、改修を重ねてきたが、本堂は老朽化が進んでおり、今回の全面改築に至った。

上棟式には、関係者及び、住民など老若男女が集い、午前10時から行事が開催された。

まず上棟記念法要があり、その後は工匠式として、工匠たちによる上棟式が行われた。

内容は、招致（メシタテ）の儀、引綱（ヒキヅナ）の儀、槌打（ツチウチ）の儀で、記者も工匠の発声に合わせて、何度か綱を引かせてもらった。参加者が皆で参加していたので大変盛り上がった。

次の槌打の儀では、工匠たちが祈願の言葉を唱え、上部に登り、大きな槌で棟木を叩くという儀式。その後、住職堀内直文氏による挨拶で締められた。



引綱（ヒキヅナ）の儀



槌打（ツチウチ）の儀



餅まきの様子（上）と全景（下）



閉式の辞のあと餅まきが行われた。子どもたちへのお菓子を先に投げ、その後、皆にまくという気配りだった。

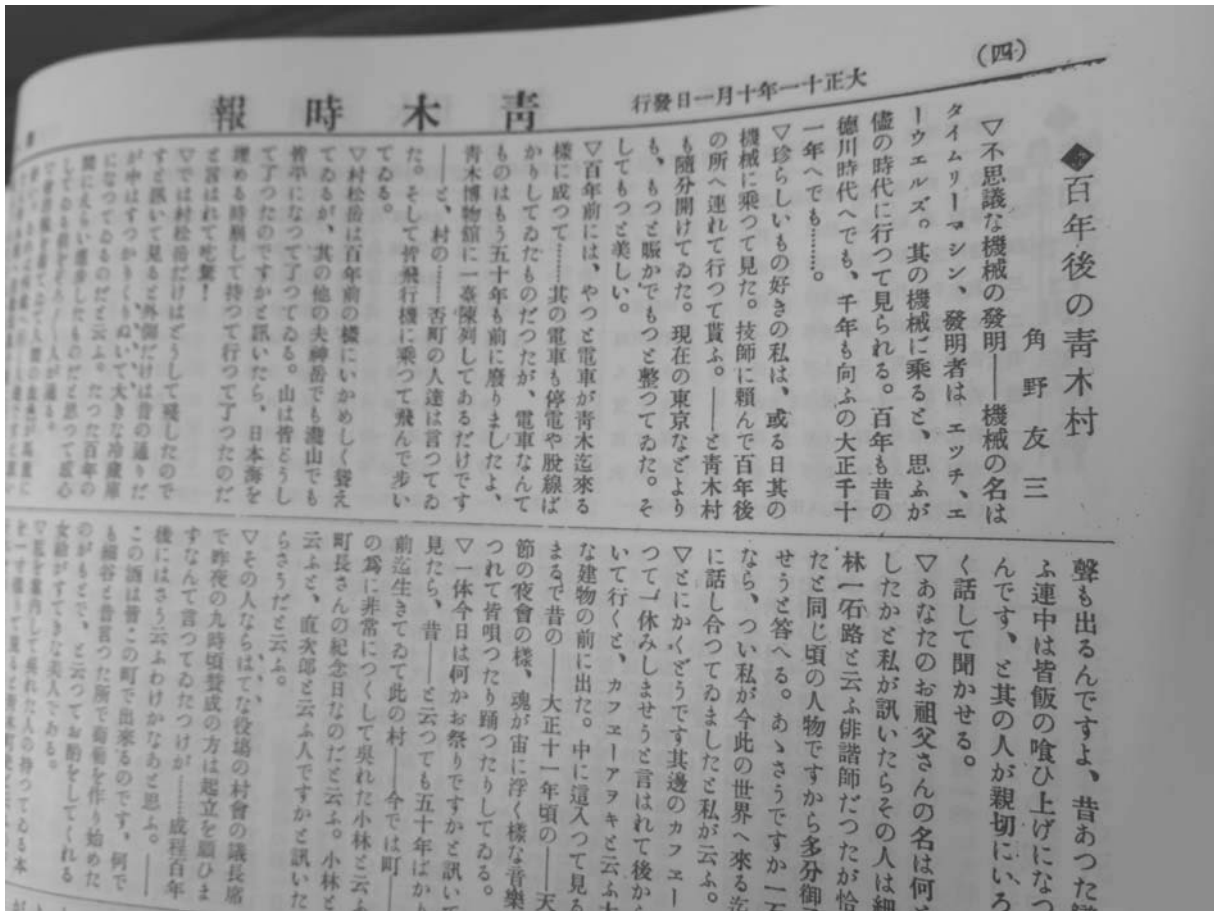
堀内住職は「ここに建立されます本堂が、人々の生活に潤いを与え、仏心の種を育むことを確信いたします」とご挨拶された。

住民の生活に欠かせないお寺。無事の竣工を願い、大勢の方が参加した実りある上棟式だった。

(U)

青木時報を学ぶ

大正 11 年 10 月 1 日 第 11 号から抜粋



角野さんという方が、タイムリーマシンで 100 年後の青木村に行った記事が書かれている。100 年後の青木村は、当時の東京よりも賑わっていて美しい。青木村が青木町になっている。電車は 50 年前に廃線になっていて、青木博物館に展示してある。8 階建ての青木町青年会館をエレベーターで屋上庭園に上がり眺めてみると、夫神山、滝山がなくなり、平らになっている。子檀嶺岳は、中がくりぬかれ大きな冷蔵庫になっている。青木時報初代編集長の栗林一石路の孫と会ったとも書かれている。最後は「何だ！夢だったのか…惜しかったわい」。

このように、とてもユニークな内容であり興味深い。この記事が書かれた大正 11 年（1922 年）は、今から 91 年前。現在が約 100 年後と言える。当たっているのは、電車が今から 75 年前の昭和 13 年（1938 年）に廃線になっていることと、青木博物館が青木村民俗資料館としてあることだろうか。当時の人が現在の青木村を見たら、どう思うだろう。私も今度、100 年後の青木を想像してみたいと思った。もしまた 100 年後に、その時代の人に読んでもらえたら実に面白い。（山浦）

青木村里山だより ~きのこ~

今年度は松茸など、きのこが豊富な年でした。青木村直売所では地元産松茸を目当てにたくさんの方が訪れました。松茸以外のキノコも多かったですが、一方で食中毒も多い年でした。やはり知らないきのこは食べないことが大事ですね。

きのこの豊作不作は、その年の雨の量などにより変わります。天然のきのこは、自然の恵なのです。ですが、自然の力だけでなく人間の手も必要です。山も手入れをすることにより、日が入り山がきれいになります。里山に暮らす私たちは、この自然を守ることが大切だと思います。来年の山の幸が楽しみです（堀内）



広告・協賛の募集

平成青木時報では、広告の掲載を募集しています。個人協賛でメッセージを載せることもできます。詳しくは編集部まで、ご連絡ください。

青木フィーリング ～知らない青木に出かけよう～ エステ編

この号から始まりました、青木フィーリング。村の新発見から村のスポット、ショップなどを取材して感じてみようという企画です。

今回訪れたのは隠れ家のようなお店「トータルビューティサロン **mano&mano**」。店内はナチュラルでオルゴールの音楽が流れていて「ホッ」とリラックスできて、本格的なエステがお手軽な価格で癒しのひとときをすごせます。笑顔が素敵な店主、青木村出身の渡辺めぐみさん。エステシャンとして経験を積み、今年独立し開業されたとのこと。

店名の「mano」は、スペイン語で手という意味で、お客様と手と手を取り合っ、ゆっくりくつろいで綺麗になってもらえる、癒しの手になりたいという願いが込められているそうです。

記者は、ボディーエステのお試し45分間をしていただき、ポカポカになりとても楽になりました。ボディー、フェイスの他にブライダルエステもあり、完全予約制で営業時間は午前9時～午後11時。家事、育児の合間や仕事帰りに寄ってみませんか。毎日頑張っている自分のご褒美にも。(月香)



トータルビューティサロン
mano&mano

渡辺めぐみさん

★予約専用 TEL★

080-9408-2009

★予約専用メールアドレス★

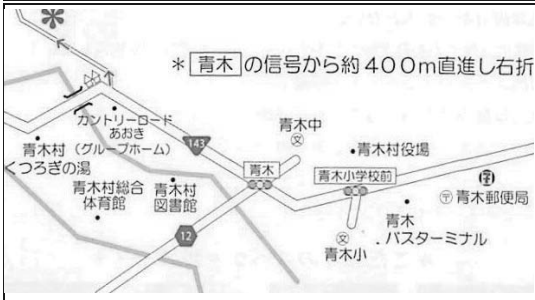
angel-manomano@soft

bank.ne.jp

★ブログ★

<http://ameblo.jp/mano>

[mano-beauty/](http://ameblo.jp/mano-beauty/)



主なメニュー

- ・ 酵素フェイシャルエステ 60分 4,500円
- ・ ブライダルエステ お客様のご要望をお聞きしてプランニング
- ・ バリニーズエステ (ボディー)

半額キャンペーン中

- 45分 6,500円→3500円
- 60分 12,000円→6,000円
- 120分 20,000円→10,000円

他にも多数メニューあります。お気軽にお問い合わせください。

信州マイタウン

ウオッチング開催

商工会青年部が企画

商工会は地域の事業者が業種に関わりなく会員となつて、互いの事業の発展や地域を良くするための活動をしている。その東信地域の商工会青年部が、交流もかねて毎年持ち回りでやっているマイタウンウォッチング。その地域の魅力を視察、体験するというもので、今年9月19日青木村で行われ、東信各地から50人以上が参加した。

まずはバスで大法寺国宝三重塔を見学。次に文化会館で研修会が行われた。その後、道の駅ふるさと体験館で、おやき作り体験。リフレッシュパークあおきで、溪流釣り体験が行われた。観光や視察の見るだけのものより、村の魅力や観光資源を体験してもらおうということ、青木村商工会青年部が企画。参加者も楽しんでくれた様子だった。内藤崇明青年部部長は「小さな村の小さな商工会青年部だが、少ないメンバーで頑張っている。村の魅力を感じてもらえたようで嬉しい。」と話していた。若い力で地域や村の産業を支える、商工会青年部の活動。これからの活動にも注目していきたい。



溪流釣り体験



おやき作り体験



熱心に取り組む研修会の様子

あっ！アオキノコちゃん、出荷されちゃった？

道の駅にいた巨大アオキノコちゃんが行方不明になった。さっそく我々が調べてみたところ、補修しているだけだとか。

その間にフェイスブックを始めたり、プロモーションビデオを作ったり、テレビに出演したりと、広報活動に励んでいらっしゃるらしい。

ゆるキャラグランプリは10月の時点で842位。投票の締め切りは11月8日だ。最終順位を賭けた戦いはクライマックスに。

ホームページから1日1票投票できるので、興味のある人はぜひ。



道の駅に置かれる台座



鎌倉蝶話会、青木を訪れる

かまくらちようわかい

10月8〜9日、信州昆虫資料館に鎌倉蝶話会の皆さんが来られました。周りの森を散策し、館内の標本や文献、山田靖昆虫画家のギャラリィを見学されました。村内の温泉宿に泊まり、土産に道の駅でどっさり松茸を購入。資料館の講義室で、第7回新鎌倉蝶話会を開催され、葛谷健氏、布施英明氏の研究発表がありました。メンバーの中に養老孟司氏もおられ、食い入るように標本を見ていたのが印象的でした。「青木村は豊かな自然と温泉と昆虫資料館があり、素晴らしい！また是非訪ねたい」と手を振って帰途につかれました。

編集部からのお知らせ

○第4号の青木人の記事で、面積の単位を「反部」と記載してしまいましたが、正しくは「反歩」の誤りです。訂正してお詫びします。

○産業祭に出店予定

11月16・17日に道の駅あおきで行われる産業祭に、平成青木時報編集部も参加する予定です。ぜひお立ち寄りください。

読者からの投稿



滝山ダムに向かう途中、大きなキノコ「オニフスベ」を見つけました。妻と、目を貼り付けて、野のお地蔵さまになりました。

(ペンネーム 原耕作)

平成青木時報は、青年グループ「泥百笑（どろひやくしょう）」が、平成25年度長野県地域発元気づくり支援金を活用させていただき、制作しております。

ご意見ご感想、写真の投稿などお待ちしております。

平成青木時報編集部 代表 山浦和徳

電話 090-2308-8270

メール aokijiho@gmail.com

ホームページ <http://doro100sho.jimdo.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/aokijiho>

Twitter @aokijiho

新聞のご用命は・・・

信濃毎日新聞 日刊スポーツ
朝日新聞 スポーツニッポン
毎日新聞 日刊工業新聞
日本経済新聞 週刊上田

東郷堂



青木村の新聞配達は私達が担当しています。

小宮山克子 TEL: 49-2180

増田 久義 TEL: 49-2880

林 真理 TEL: 49-2726

